

葦 工 ニュース

県立葦崎工業高等学校

総務部

第 112 号

2014.01.28

教材教具引渡し

マイコンカーラリー出場

全日本選手権 3 位

スキー部の活躍・応援実技発表会

教材教具引渡し：あけぼの支援学校へ

1月22日、11人の生徒があけぼの支援学校を訪れ、譜面台など手作りの教具系13点を贈りました。あけぼの支援学校への教具贈呈は15年以上続く葦崎工高の恒例行事です。今回製作を担当したシステム工学科3名と電気科8名の生徒は、課題研究の木工班に所属し、教材・教具のイメージをつかむために昨年7月に支援学校の生徒と交流しました。引き渡し式では、11名が支援学校の代表児童・生徒に譜面台やリモコンスイッチを手渡しました。電気科の濱久保佑菜さんが「先輩方が製作した物が大切に使われているのを見て、自分が製作した机も大切に使ってくれると思います、うれしくなった」と話していました。



マイコンカーラリー出場

「ジャパンマイコンカーラリー2014 南関東東地区大会」が2013年12月15日(日)、東京都立総合工科高等学校にて開催されました。エントリーは、Advanced Class 36台、Basic Class 55台、両部門合わせて91台20校となりました。競技方法は、IN側、OUT側を各1回走行しベストタイムを記録とし、順位を決定します。コース長は、50.28mです。この大会のBasic Classに、私は(制御工学科3年小澤裕太)出場しました。マイコンカーとは、マイコンボードを搭載し、独自に車体を製作、プログラミングした手作りのマシンです。マイコンカー製作は大きく分けて、車体の製作、マイコンボードを含めた電気回路、プログラムに分けられます。コースは幅300mm、高さ30mm、地は黒色でコース中央には幅20mmの白色のセンターラインがあります。この白、黒をマイコンカーのセンサが判断しながら進んでいきます。コース自体は、直線コースの他にクランク、S字カーブ、立体交差、レーンチェンジという難易度の高い要素を含み構成されています。一番の特徴といえば、やはりクランクです。クランクの手前50~100cmには1本の白線がコースを横切るように引かれ、その先にクランクがあることをマイコンカーに伝えます。この白線を検知すると、減速してクランクモードに切り替わりセンターラインの曲がる方向を判断して直角にカーブします。同じクランクでも直前の状態(直線、カーブ、立体交差)によりマイコンカーのスピードが異なるため条件が異なります。全てを難なくクリアすることが重要なポイントとなります。この大会に臨むに当たり、2週間前より毎晩遅くまで改造・調整をし、休日も返上で取り組みました。また、助っ人として制御工学科3年岡野天君、環境化学科3年深沢賢志朗君が手伝ってくれました。どうか大会2日前に学校の手作りコースでは完走させることができるようになりました。しかし、大会前日の試走会では完走できるプログラムを作ることができませんでした。そこで、学校に持ち帰って、クリアできなかった右クランクの調整をしました。さらに、大会当日のわずかな試走時間にも調整し、確実に完走できるプログラムを完成させました。その結果、1回目の走行で30.77秒を記録し、完走することができました。2回目の走行では、タイムを4秒縮めるプログラムを書き込



み、走らせましたがコースアウトしてしまいました。直前の試走の時は26秒台で完走したのですが、詰が甘かったようです。来年は、後輩達に今回の記録を上回るようなプログラムを開発してもらいたいです。

レスリング全日本選手権で見事3位

“天皇杯・全日本レスリング選手権大会”が東京国立代々木競技場第2体育館で12月21日から行われ、本校から3年生の文田君と後藤先生が出場しました。文田君は2回戦で西日本大学王者をフォールで倒し、3回戦も大学生選手にTフォール勝ちした後、準決勝で、全日本選抜王者で2013世界選手権5位のクリナップ所属の社会人選手に惜しくも3-6で敗れました。敗者復活戦を勝ち上がり、3位決定戦では、国体成年の部優勝でALSOK所属の社会人選手に見事判定勝ちし、2年連続で表彰台へ上がりました。高校生が2年連続で表彰台に上がったのは大会史上2人目の快挙となりました。後藤先生は8位に入賞しました。2014年より階級とルールの変更が行われ55kg級は59kg級となりました。もう一度身体を作り直し2016リオデジャネイロと2020東京オリンピックを目指し頑張ってもらいたいです。



冬季高校総体山岳・スキー部優勝

1月6日～9日に長野県霧ヶ峰高原クロスカントリー競技場で冬季高校総体スキー競技が開催されました。本校から山岳・スキー部の選手7名が出場しました。今年のチームは過去にないくらい走力があり、年末の野沢温泉村での強化合宿でもよい滑りをしていました。本番では練習の成果をしっかりと発揮してくれ、10kmフリーで中嶋敬太君が優勝、10kmクラシカルで依田鷹樹君が優勝、リレーで芳賀大輝君、安藤翔平君、中嶋、依田のメンバーで優勝することができました。学校対抗でもなんとか5連覇を達成することができました。少数ですが、お互いが強くなりたいという気持ちを胸に日頃の練習を一生懸命取り組んだ成果だと思えました。関東、全国大会でも納得の滑りをしてもらいました。



山梨県高等学校応援団発表会開催

今年で第6回となる山梨県高等学校応援連盟主催の応援団発表会へ参加してきました。本校は第3回から参加させていただき4回目の参加となりました。毎年少しずつ応援の技術を向上させ、今年は多くのお客様からお褒めの言葉を頂きました。この発表会は800人を超える方が来場し、日頃練習している応援技術を発表する場となっています。また、他校の応援団の良さを知ることが出来る場ともなっています。私たちに出来る力の限りを多くのお客様に見てもらい人間的に大きくなることができました。本校応援団は学校内で行われる壮行会や各部応援を中心に活動しながら、他校と合同で応援活動を行ってきました。今年度は多くの応援活動を通し、技術及び志の向上をすることができました。この発表会を最後に3年生5名は引退となりますが、今後も韮崎工業高校応援団の伝統が永遠に続いてくれることを祈っています。(韮崎工業高校応援団 団長 中村 龍哉)



URL <http://www.nirasakith.kai.ed.jp>
e-mail info@nirasakith.kai.ed.jp